

平成23年 1月17日

## お知らせ

資料提供先：鳥取県政記者クラブ  
鳥取市政記者クラブ

## 会議を開催します

千代川流域における水災害に対する取り組みを考えるために  
**第3回「気候変動にともなう防災・減災を考える会」**  
を開催します

このたび、「気候変動にともなう防災・減災を考える会(第3回)」(千代川流域圏会議・分科会)を下記のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。

### 記

**開催日時：平成23年 1月19日(水) 13:30~15:30**  
**開催場所：鳥取河川国道事務所1階・第1会議室**  
参加委員：別紙委員名簿のとおり

#### (要旨及び背景)

近年、全国的に大規模な水災害が頻繁に発生する中で、千代川流域においても、全国的な傾向と同様に、温暖化に伴う気候変動によると考えられる集中的な降雨、潮位の上昇傾向等が見られ、今後も流域に対する水災害リスクが上昇していくことが考えられています。

こういった背景を踏まえ、気候変動にともなう水災害リスクに対する適応策(ソフト的な取り組み)について、学識経験者、地元関係者、及び関係行政機関等で考えていくことを目的として本会を平成22年7月に設立しました。

第3回となる本会議では、千代川流域住民を対象に実施しました「水害意識に関するアンケート」の分析結果(概要は別紙のとおり)等を踏まえた、水災害意識についての現状と課題を確認し、次年度取り組むべき具体的なソフト対策について議論・検討する予定です。

本会議で、千代川沿川住民の水災害における自主防災意識(自助・共助)の向上を図り、官民一体となって「犠牲者ゼロ」に向けた取り組みを推進していきます。

#### 問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所  
TEL：0857-22-8435(代) FAX：0857-29-8548

副所長(河川)

うえはし のぼる  
上橋 昇

#### 【担当】

河川管理課長

くにもと ちかのり  
國本 哉智

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

#### ※取材について

会議は全て公開で実施します。会議中の撮影は可能ですが、会議の妨げにならないようお願いいたします。

※「千代川流域圏会議」とは

「千代川を軸として地域の交流、連携を図るとともに、千代川をよりよくするための取組や地域活性化への取組を行っていくこと」を目的に平成9年に設立された会議であり、今回設立される「気候変動にともなう防災・減災を考える会」はその分科会になります。

※今後の分科会の予定は別紙1の通り

第3回 気候変動にともなう防災・減災を考える会 議事次第

1. 開 会

2. 議 事

- ・千代川流域住民の水災害意識についての課題の確認
- ・今後取り組むべき具体的なソフト対策(案)について 等

3. 意見交換

4. 閉 会

# 千代川沿川地区における 水害意識に関するアンケート

## 調査結果 報告

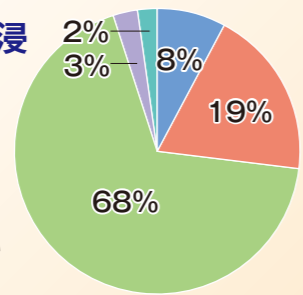
千代川流域にお住まいの方々の水害意識を把握するため、今年の8月から約1ヶ月間にわたってアンケート調査を実施しました。数多くの回答をいただき、ご協力いただきました皆様ありがとうございます。この調査結果を基に、現状と課題を整理し、今後の防災対策に役立てていきます。



### 水害に関する知識や備えについて

**1** 自宅や自宅周辺が浸水したことはありますか？

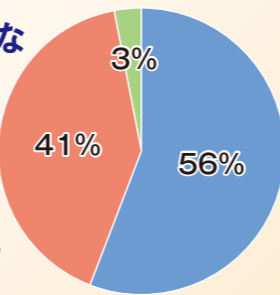
- 自宅が浸水したことがある
- 自宅が浸水したことはないが、自宅周辺が浸水したことがある
- 自宅や自宅周辺が浸水したことはない
- その他
- 不明



★浸水経験のない人が約7割であった。

**2** 昨年は兵庫県佐用町などで大きな水害が発生しましたが、水害について関心がありますか？

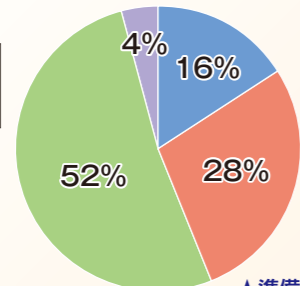
- とても関心がある
- 少し関心がある
- 関心がない



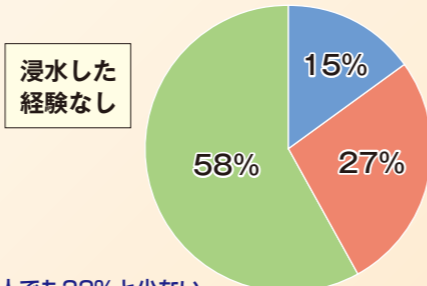
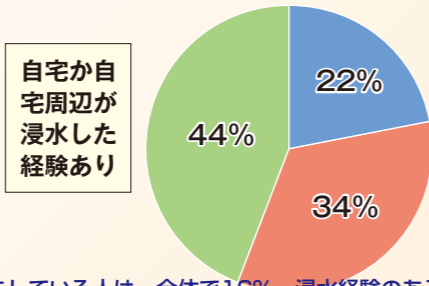
★記憶が新しいせいか、ほとんどの人が水害に関心がある。

**3** 災害に備えて、非常用持ち出し品(非常用保存食、水、ラジオなど)を準備していますか？

- 準備している
- 今は準備していない
- 準備していない
- その他



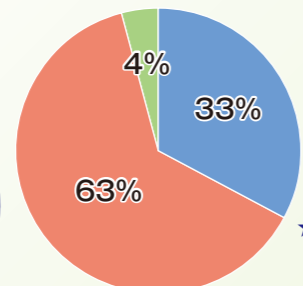
★準備をしている人は、全体で16%、浸水経験のある人でも22%と少ない。



### 地域の防災情報について

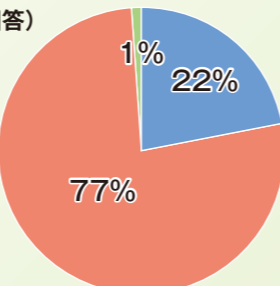
**1** 国土交通省や鳥取県がインターネットや携帯サイトで、雨量や水位などの防災情報を提供していることを知っていますか？

- 知っている
- 知らない
- 不明



**2** 防災情報を利用したことはありますか？(知っていると考えられた方の回答)

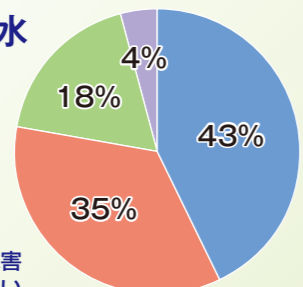
- 利用したことがある
- 利用したことはない
- 不明



★情報提供を知る人が約3割、そのうち利用したことがある人が約2割、結果実際の利用率は1割未満と少ない。

**2** 市や町が指定した水害時の避難場所を知っていますか？

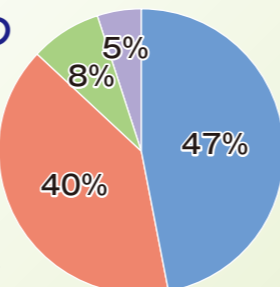
- 知っている
- 避難場所は知っているが、水害時の避難場所がわからない
- 知らない
- 不明



★指定の避難場所を知っていても、水害時の避難場所がわからない人が多い。

**3** 住んでいる市や町の洪水ハザードマップ(洪水避難地図)を持っていますか？

- 持っている
- 持っていない
- 見たことも聞いたこともない
- 不明

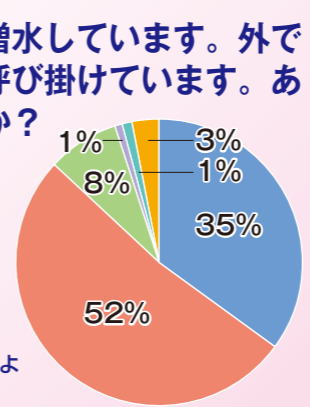


★ハザードマップはここ2年で配布されているが、所有率は5割に満たない。

### 避難行動について

**1** 風雨が強まり川が増水しています。外では広報車が避難を呼び掛けています。あなたはどのようにしますか？

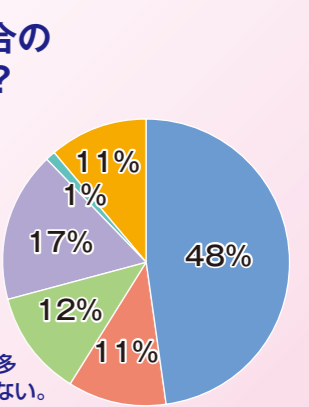
- 直ちに避難する
- 直ちに避難しないが、避難の準備は始める
- 避難の準備はしないが、情報を集める
- 何もしない
- その他
- 不明



★9割近くの人が広報車の呼びかけにより、避難の意識が働く。

**2** 避難を決心する場合の決め手は何ですか？

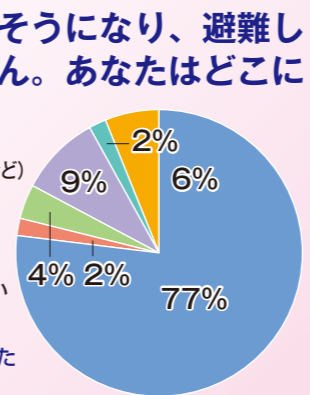
- 広報車や防災行政無線からの避難の呼びかけ
- テレビやラジオからの避難の呼びかけ
- 近所の人が避難を始めたとき
- 消防団や近所の人からの避難の誘い
- その他
- 不明



★「広報車や防災行政無線」が約5割と多く、「テレビやラジオ」は約1割と少ない。

**3** 近くの川があふれそうになり、避難しなくてはなりません。あなたはどこに避難しますか？

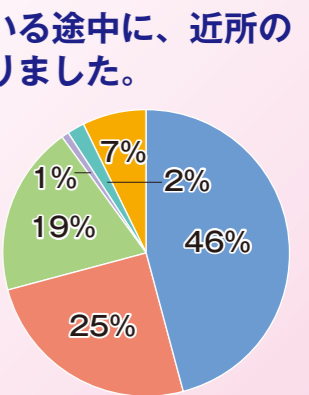
- 市や町が指定した避難場所(公民館・学校など)
- 最寄りの役場や病院など
- 高台にある近くの知人や親戚の家
- 自宅の上階、または自宅がマンションの高層階であるため外へは避難しない
- その他
- 不明



★「市や町が指定した避難場所」と答えた人が全体の77%であった。

**4** あなたが避難している途中で、近所のお年寄りが気になりました。どうしますか？

- 一緒に避難する
- 避難するよう声だけかける
- 消防団などに連絡する
- 特に何もしない
- その他
- 不明



★お年寄りに対する支援の意識が高い。

### ご意見(自由記述)

#### 【情報】

- 危険な場所などを予め住民に知らせておいて欲しい。
- 地域では「うわさ」が先行する場合がありますので、正確な情報を正しく住民に伝える事の徹底をお願いしたい。

#### 【避難】

- 避難場所は自宅から距離があって避難できるかどうか心配。
- 無理な移動より、自宅の二階や近所の高層アパート利用など実情に則した避難方法を教えて欲しい。
- 近くの避難所は地盤が低く、水害時には使えないと思う。
- 避難システム(自主避難・避難勧告など)を知らないのでも教えて欲しい。

#### 【普段の備え】

- 救助、避難に関する実地訓練を実施して欲しい。
- 地域の問題点を明確にし、その解決のために住民が一体となって取り組むような体制づくりが必要。
- ハザードマップの配布は防災意識を高めるためにも有効。配布後のフォローも必要。
- このアンケートを記入している間に、自分が防災の知識を何も知らないことがわかった。

#### 【要援護者】

- 老人、子供等への対応をどうすべきか、より具体的に検討すべき。
- 広報車での呼びかけはもちろんだが、1人暮らしの老人宅には責任をもって伝える人が必要だと思う。

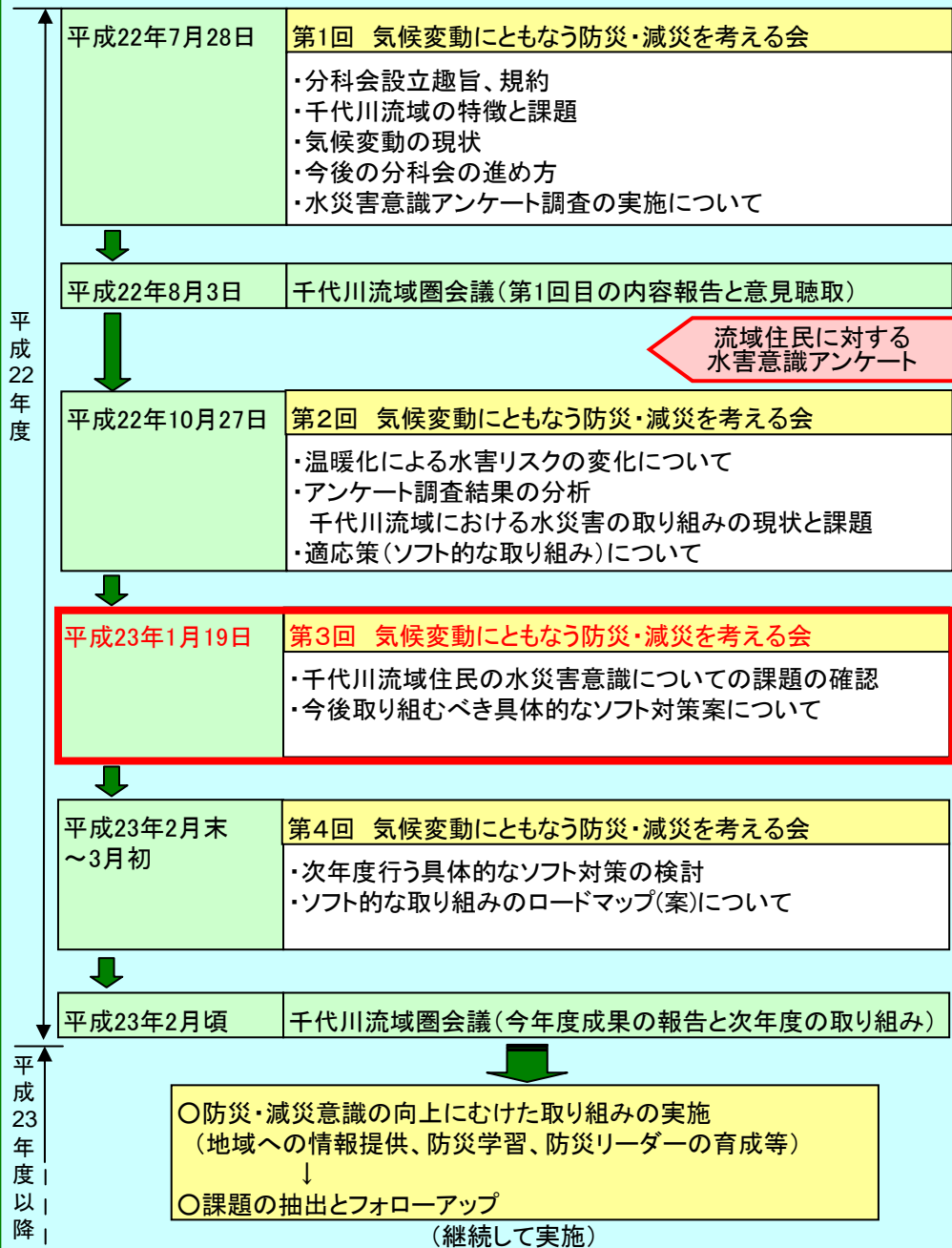
### 調査結果【まとめと今後の課題】

- 水害に対して関心があると答えた方が97%と千代川流域住民の水害に対する関心は高いですが、非常用持出品を準備している方は16%、「ハザードマップを持っている人」は47%と、普段からの備えについては十分とは言えない点が見られました。
- 避難に関しては、「広報車が避難を呼びかけた」場合、直ちに避難する人が35%、避難の準備を始める人が52%という結果であり、「避難の決め手」としては、「広報車や防災行政無線からの呼びかけ」が48%と広報車や防災行政無線からの情報が重要という結果でした。しかし、避難場所までの移動距離や移動中の安全性について不安を抱えているという意見もいただきました。
- その他、援護が必要な方の支援について関心が高く、地域での協力体制の強化を望む声が多かったこと、また、千代川が氾濫した場合の実際の水の流れや危険箇所など、詳細な情報提供を望む声も多数聞かれました。

# 【別紙1】「気候変動にともなう防災・減災を考える会」の今後の予定及び参加委員

## 今後の予定

※スケジュール等は目安



## 気候変動にともなう防災・減災を考える会 委員名簿 (千代川流域圏会議・分科会)

氏名	役職等	備考
ひのきだに おさむ 檜谷 治	鳥取大学大学院工学研究科 教授	委員長
どい こうさく 土井康作	鳥取大学 地域学部 教授	
たになが まもる 谷永 守	鳥取地方気象台 防災業務課長	
たけもり たつお 竹森 達夫	鳥取県 県土整備部 河川課長	
たかはし とおる 高橋 徹	鳥取市 防災調整監 危機管理課長	
おだ かずとし 尾田 一壽	日本赤十字社 鳥取県支部 事務局長	
にしむら いくお 西村 育雄	鳥取市消防団 団長	
たけだ やすあき 武田 恭明	鳥取市自主防災会連合会 会長	
やまだ たてお 山田 建雄	鳥取市自主防災会連合会 富桑地区評議員	
やまね ようじ 山根 洋治	鳥取市自主防災会連合会 明德地区評議員	
まえだ まこと 前田 誠	鳥取市自主防災会連合会 大正地区評議員	
こばやし みつお 小林 光男	郵便局株式会社 八頭郵便局 局長	
うえはし のぼる 上橋 昇	鳥取河川国道事務所(河川)副所長	
みちうえ まさのり 道上 正規	(財)とっとり地域連携・総合研究センター理事長	千代川流域圏会議 会長 オブザーバー